

“超低遅延/広帯域化”NW技術

- ヒトの感覚に近い通信が実現可能になります -

B2B2XモデルのミドルB事業者向けにエッジコンピューティングを活用した新たなユースケースを具現化



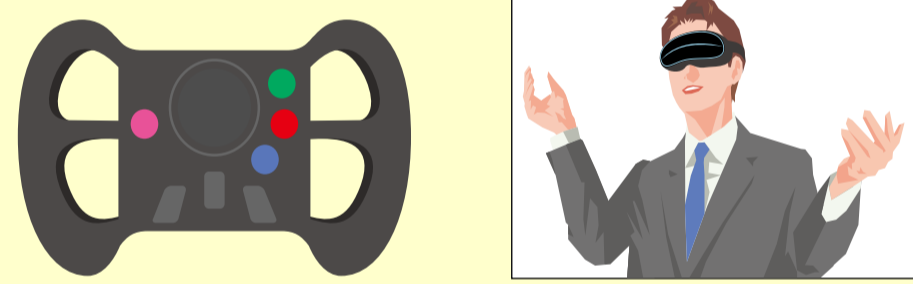
特長

- 超低遅延化により感覚のズレなく映像が表示され、リアルタイムな遠隔制御が実現可能
- 広帯域化により高解像度の映像も瞬時に表示され、精密な処理が必要とされる作業もストレスなく実施可能

【利用シーン（例）】

- ・熟練工による工作機器の遠隔制御（プラント・工事現場向け）
- ・専門医師による医療用デバイスを介した遠隔診断（過疎地域向け）

デバイス/モノ制御

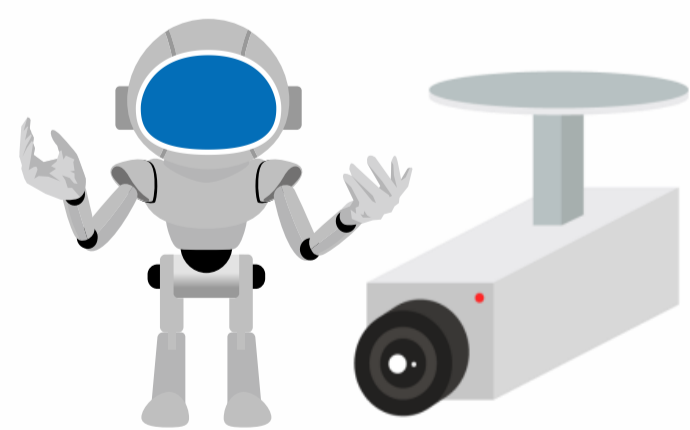


【エッジコンピューティングの活用】

ミドルB事業者のアプリを
デバイス/モノ近傍に配備

【採用技術】

- ・低遅延通信パケット処理技術
- ・通知帯域利用技術
- ・遅延を考慮したC/Uデータ補正技術
- ・Local Breakout技術



デバイス/モノ

アプリ アプリ
エッジ

アプリ アプリ
クラウド

NW制御機能

インターネット

キャリア
ネットワーク

今後の展開

早期サービス化が期待されているユーザ密集エリアでの利用に適した高速/大容量な新たな無線アクセスに対して本技術の適用を検討中